

「計画策定にあたって」の構成要素について

(1) 世田谷区をめぐる状況

盛り込まれている内容	
社会状況	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少社会 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大 ・気候危機 ・ロシアのウクライナ侵攻などに伴う物価高騰 ・所得格差の広がり ・地域社会の分断 ・社会インフラの老朽化の加速
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・区民の生命と健康を守ることに最優先に取り組む ・区民の安心感を確保してより安定した区民生活の基盤を構築する ・わくわく感の創出により区民の参加意欲や行動意欲を醸成する ・多様性の尊重の視点から幅広い参加機会を確保する ・参加と協働の基盤を強化し、持続可能な未来を確保する

(2) 目指すべき未来の世田谷の姿

目指すべき具体的な姿	
区民生活	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを生み育てやすい ・子どもが生き生きと学べる ・誰もが参加できる場がある ・必要な支援が受けられる ・若者が活躍できる ・何度でも学び直せる ・多様な出会いが創出される
地域経済	<ul style="list-style-type: none"> ・既存産業がさらに発展する ・起業家の輩出や育成を支える基盤づくりが進む ・地域課題の解決のためのソーシャルビジネスが浸透する
都市基盤	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に強く安全が確保される ・道路や公共交通環境が維持・整備され、利便性が高まる ・地域や文化に根差した歴史ある風景や街並みが守られる ・新たな魅力と活力が感じられる都市が創出される
自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ・人と自然が支え合い地球の健全性が維持される ・自然が持つ多様な機能が積極的に生かされる ・気候変動を抑えるため、人の行動や社会のあり方が変わる ・脱炭素化の取組みを進め、環境負荷の軽減が図られる
自治体経営	<ul style="list-style-type: none"> ・経営効果の最適化が図られる ・複眼的な視点から、取組みが横断的、総合的に展開される ・DXの取組みにより、区民の利便性向上を図られ、区民や事業者ともイノベーションが創出される ・最新の技術や知見等に基づき、常に変革し続ける